

の使用量も少ないため、酸化物の発生が抑制される、③加圧室が小さいため、アルミの捨て打ち量が減少する、④ダイベース下の清掃が不要になる（清掃場所は加圧部のみ）という特徴がある。

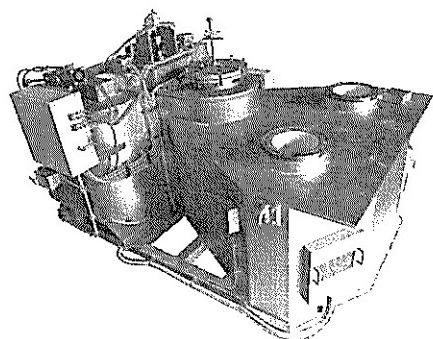
すでに日本・中国・韓国で特許を取得。ユーザーサポートとしては、清掃、部品交換等各種メンテナンスに対応可能である。

ノンストック型定湯面式低圧铸造用三槽炉「NewLP」 ——トウネツ

アルアングラーのトウネツ（静岡県富士宮市、望月城也太社長）が、新たに三槽タイプの低圧铸造炉を完成させた。

原型となったのは、約10年前に開発された定湯面式二槽炉。今回は新開発の軽量耐火断熱材を使用するなどし、三槽炉として生まれ変わった。

二槽式は一槽式に比べると
①製品品質・生産量がアップする、②設置コストの低減が可能
といったメリットがあったが、さらに三槽式にすることにより、
①消耗部品（ストック）がないため維持コストの低減が可能、
②加圧面積が小さく、加圧気体



NewLP ノンストック型定湯面式低圧铸造用三槽炉